

京都大学 1975 年 入学試験 文系数学 問題 4

問題

平面上で、3つの定点  $A, B, C$  と定円の周上を動く点  $P$  がある。ベクトル  $\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}$  の大きさが最大となるのは点  $P$  がどんな位置にあるときか。

解答

$\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}$  の大きさを  $l$  とする。  
 $\frac{\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}}{3}$  を  $P$  からのベクトルとしたとき、この終点を  $G$  とすると、点  $G$  は  $P$  の位置にかかわらず一定。

$$\begin{aligned} \vec{PG} &= \frac{\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}}{3} \\ &= \frac{\vec{GA} - \vec{GP} + \vec{GB} - \vec{GP} + \vec{GC} - \vec{GP}}{3} \\ &= \frac{\vec{GA} + \vec{GB} + \vec{GC}}{3} - \vec{GP} \\ &= \frac{\vec{GA} + \vec{GB} + \vec{GC}}{3} + \vec{PG} \end{aligned}$$

つまり、 $\frac{\vec{GA} + \vec{GB} + \vec{GC}}{3} = 0$

より  $\frac{-\vec{AG} + \vec{AB} - \vec{AG} + \vec{AC} - \vec{AG}}{3} = 0$

$$\vec{AG} = \frac{\vec{AB} + \vec{AC}}{3}$$

よって、 $G$  は、 $P$  に関係なく一定

したがって、

$$\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC} = 3\vec{PG} \text{ なので}$$

$$l = 3|\vec{PG}|$$

より

$l$  が最大になるのは、 $\vec{GP}$  が最大になるとき

点  $P$  の中心を点  $O$  としたとき  $G \neq O$  の時は直線  $GO$  とその円周の交点で、点  $G$  と反対側にある点。

点  $G$  が点  $O$  と一致する場合は、 $l$  の大きさは常に一定なので、最大となる点は存在しない。

点  $G$  は  $ABC$  の重心なので、

問題のベクトルが最大となる点  $P$  は、

三点  $ABC$  の重心を  $G$ 、定円の中心を  $O$  としたとき、直線  $OG$  と円周の交点で、点  $O$  を挟んで点  $G$  と反対側の点

$G$  と  $O$  が一致するときは、任意の点  $P$  においてベクトルの長さは一定、つまり常に最大と言ってもいいが、常に最小でもある。